

第98期 中間報告書

2021年4月1日 >> 2021年9月30日



Contents

株主の皆様へ	P.1
セグメント別概況（連結）	P.3
トピックス	P.5
連結財務諸表	P.7
会社情報・株式情報	P.9

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申しあげます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、医療従事者をはじめ感染拡大防止にご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

当社グループはこの9月30日をもちまして、第98期の第2四半期累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）を終了いたしましたので、業績について概要をご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、海外においては、米国景気は個人消費や設備投資が増加したことにより持ち直し、中国景気は製造業の設備投資が増加し回復基調で推移いたしました。東南アジア諸国の景気は前年度より好転したものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大による厳しい活動制限措置等により、回復に遅れが生じました。国内においては、公共投資は底堅く、民間設備投資は持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような景況の下で当社グループといたしましては、5Gの普及やデジタル化の進展等により需要が拡大している半導体分野や、中国市場において回復基調となったファクトリーオートメーション分野を中心として、受注の拡大に注力してまいりました。さらに、需要拡大へ対応するため、増産に向けた設備投資を行うなど生産体制の整備を進めるとともに、部材の入手が困難となっている中、その確保に努めております。

コロナ禍における販売チャネルの強化としては、モーショントラッキング機器部門において当社初となるEC（電子商

取引）サイト「シンフォニアオンラインストア」を立ち上げました。

次世代ビジネスの創出に向けては、再生医療分野における自動細胞培養装置の開発が完了し、10月より受注活動をスタートさせました。また、航空宇宙分野では次世代ロケットの装備品及び航空機電動化に向けた開発を実施してまいりました。

企業集団の連結業績につきましては、受注高は513億27百万円（前年同期比26.7%増）、売上高は399億92百万円（同0.5%増）となりました。損益面につきましては、経常利益は16億72百万円（同14.6%増）となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億9百万円（同11.8%減）となりました。これは、前年同期に特別利益として投資有価証券売却益を計上していたことによるものです。

配当は継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、株主の皆様利益と、財務体質の強化及び今後の事業展開のための内部留保の充実、先行きの収益状況を勘案して利益配分を決定することとしております。中間配当については、例年どおり実施は見送り、期末配当として一括して実施することといたしますので、株主の皆様には何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、部材の調達難、価格上昇や中国の経済成長鈍化等の不安要素があるものの、新型コロナウイルスワクチンの普及や各国の経済対策の効果により、世界的な経済活動の持ち直しが期待されます。国内においても、引き続き公共投資は底堅く、民間設備投資は半導体関連を中心に持ち直しの動きが続くとみられます。

企業理念

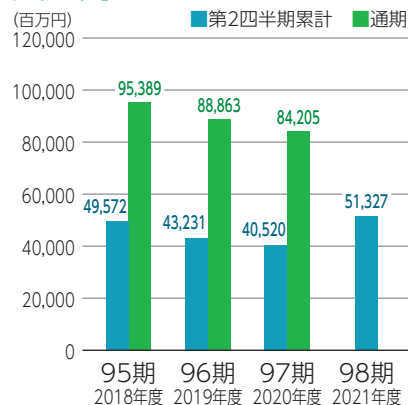
「一歩先を行く技術」
「地球を大切に作る心」
「思いやりのある行動」

私たちはこの3つを大切に

人から宇宙まで

豊かな暮らしと社会の発展に貢献します。

受注高



このような情勢の中で当社グループといたしましては、引き続き需要の増加が見込まれる半導体分野やファクトリーオートメーション分野における受注活動に注力してまいります。需要拡大への対応として、生産面では、増産に向けた国内外の設備投資を継続して実施するとともに、部材調達面では、サプライヤーとの協力体制強化や新規開拓を進め、部材不足の影響を最小限に抑えてまいります。

また、事業領域の拡大に向けては、人手不足が深刻化している物流業界の自動化に貢献すべく、他社とも連携しながら自律搬送ロボットの効果検証とシステム開発を推進してまいります。

次期中期経営計画（3か年）につきましては、「10年後の姿」を見据え、企業理念及び環境ステートメント「Ecoing」に則り、脱炭素をはじめとする持続可能な社会の実現に貢献し、中長期的に成長していくため、その礎となる3か年と位置付けて策定を進めており、詳細は策定次公表いたします。

これからも、株主の皆様、顧客の皆様から評価していただけますよう、さらに企業価値を高め、成長し続ける企業集団となるべく、グループを挙げて努力を重ねてまいりますのでございます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長

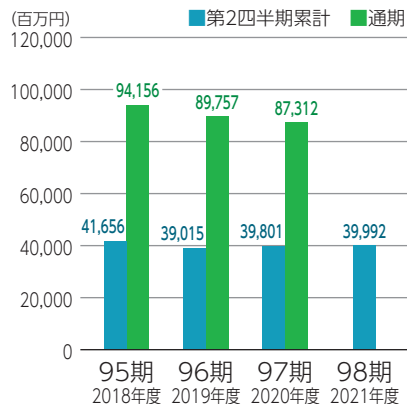
代表取締役社長

武藤 昌三

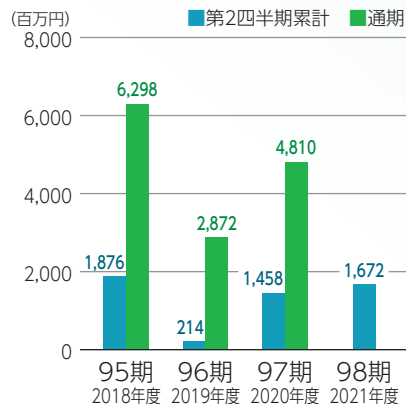
斉藤 文則

2021年11月

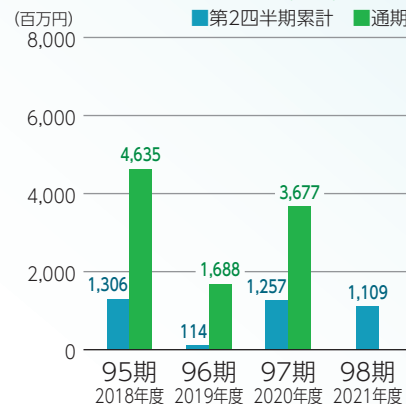
売上高



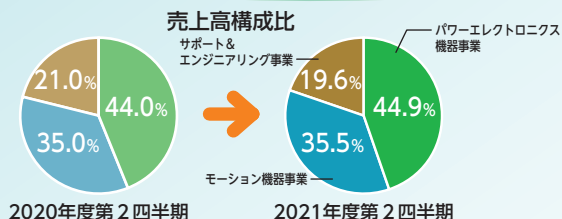
経常利益



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



セグメント別概況(連結) Overview by Segment



当社グループの事業セグメントは、「パワーエレクトロニクス機器事業」「モーション機器事業」「サポート&エンジニアリング事業」の3つで構成しております。

セグメント別の当第2四半期売上高構成比は、左グラフの通りパワーエレクトロニクス機器事業が前年同期比0.9ポイント増の44.9%、モーション機器事業が前年同期比0.5ポイント増の35.5%、サポート&エンジニアリング事業が前年同期比1.4ポイント減の19.6%となりました。

当上半期におけるセグメント別の概況は以下の通りです。

パワーエレクトロニクス機器事業

受注高 **237億 42百万円**
(前年同期比 45.8%増)

売上高 **179億 59百万円**
(前年同期比 2.6%増)

営業利益 **7億 74百万円**
(前年同期比 29.5%減)

半導体需要の高まりを受けたクリーン搬送機器部門での増加により、受注高は237億42百万円(前年同期比45.8%増)、売上高は179億59百万円(同2.6%増)となりました。損益面につきましては、クリーン搬送機器部門での売上高の増加はあったものの、社会インフラシステム部門の工事費の増加等により、営業利益は7億74百万円(同29.5%減)となりました。



クリーン搬送機器部門

精密なデバイス加工精度と高度なクリーン搬送技術が求められる半導体製造工程において、世界のトップブランドとして信頼を集めています。大気搬送技術はもちろん、独自開発のN2パージ機構を持つロードポートや真空搬送技術で、より微細化と歩留まり向上の要求が高まる半導体メーカーの期待に応えています。



振動機器部門

振動機器のトップメーカーとして、食品・化学・リサイクルなど、あらゆる業界へ振動コンベヤ等を提供。また、スマートフォン等に使われる微小部品からネジなどの大形部品まで様々な生産・加工ラインにおける部品供給・整列搬送システムを提供しています。



社会インフラシステム部門

上下水道の監視制御システム、道路管理用電気設備、さらには再生可能エネルギー発電装置を核とした小規模スマートグリッドシステムなどを提供。安心と快適、そして省エネルギーを実現しながら信頼できる社会インフラを支えています。



自動車用試験装置部門

スピーディーな開発や安全性が求められる自動車産業において、衝突試験装置等の各種実験装置・検証装置を数多く提供。ハイブリッド自動車・電気自動車など、時代の要求に応える最先端自動車の開発に貢献しています。



産業インフラシステム部門

地下街や大規模施設の空調設備に利用される冷凍機用モータ、液化天然ガスの汲み上げに使われるモータ、駐機中の航空機に電源供給する空港用電源車、産業施設・オフィスビル・レジャー施設等の常用・非常用・コージェネレーション用の発電機、様々な現場ニーズに応えるリフマグ®、最先端の金属素材開発を実現する真空溶解炉などを提供しています。

モーション機器事業

受注高 **175億 96百万円**
(前年同期比 23.4%増)

売上高 **142億 14百万円**
(前年同期比 2.0%増)

営業利益 **4億 16百万円**
(前年同期比 134.2%増)

モーションコントロール機器部門でファクトリーオートメーション分野を中心に受注が増加し、受注高は175億96百万円(前年同期比23.4%増)、売上高は142億14百万円(同2.0%増)となりました。損益面につきましては、売上高の増加により、営業利益は4億16百万円(同134.2%増)となりました。



航空宇宙部門

我が国唯一の航空機用電源システムメーカーとして、発電機をはじめとした航空機用電装品等を提供。また、ヘリコプター用レスキューホイストなど人命救助に役立つ製品からロケット用制御システムなど宇宙分野で活躍する製品まで幅広く提供しています。



モーションコントロール機器部門

産業用電磁クラッチ・ブレーキからOA機器用マイクロ電磁クラッチ、自動車用電磁クラッチ、自動車用制振装置、鉄道用ブレーキ、建設機械用コントローラ、産業用サーボアクチュエータなど、豊富なバリエーションを提供。様々な機器の動作制御に関わるモーションシステム製品を幅広く提供しています。



大型搬送システム部門

巨大な航空機の牽引をはじめ、乗客の乗り降り、貨物の搬入搬出を担う空港用地上支援車両など、空港運営に不可欠な重量物搬送を行う特殊車両を提供。さらに、港湾、倉庫、造船所における超重量物搬送で活躍する産業用特殊車両など、用途に特化した各種車両を提供しています。



プリンタシステム部門

アミューズメント施設や街中で見られるシールプリンターやカードゲーム機、各種プリントサービスに使われている昇華型プリンタを提供。世界最速・最高解像度を実現し、世界初の両面プリンタやツインヘッド方式によるホログラムプリンタを開発するなど、プリント&ビジュアル分野の可能性を広げています。

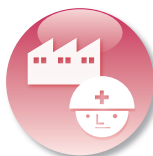
サポート&エンジニアリング事業

受注高 **99億 88百万円**
(前年同期比 0.2%増)

売上高 **78億 18百万円**
(前年同期比 6.5%減)

営業利益 **4億 48百万円**
(前年同期比 57.1%増)

受注高は99億88百万円(前年同期比0.2%増)、売上高は78億18百万円(同6.5%減)となりました。損益面につきましては、工事案件の採算改善により、営業利益は4億48百万円(同57.1%増)となりました。



シンフォニアエンジニアリング(株)

当社製品の保守・サービス業務、公共、民間の電気工事、管工事、搬送工事等の設計施工業務及び情報機器(券売機、入退場システム等)の製造・販売・サービス業務を主要事業として展開しております。



(株)S & Sエンジニアリング

病院内搬送をメインに、移載・収納・保管を含むトータルな搬送システムの導入計画立案から設計、施工、メンテナンスまで一貫した取組で、最適な搬送ソリューションを提供しています。

サポート&エンジニアリング事業は、上記2社の他、保険代理業、運送業、労働者派遣業や当社グループ内の経理・給与業務を請け負うシンフォニア商事(株)、ソフトウェア開発やOA機器の販売を行う(株)アイ・シー・エスにより構成されています。

業界初、データによる品質管理を実現した 自動細胞培養装置を開発・受注開始

当社と公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構（略称：FBRI）殿が共同で進めてきた自動細胞培養装置 CellQualia Intelligent Cell Processing Systemの開発が完了し、iPS細胞ならびに間葉系幹細胞を用いた実証実験で良好な結果が得られたため、本年10月から正式受注を開始しました。

細胞培養は現在、高度な熟練者による手作業での製造が主体ですが、微妙な条件や手順の違いが品質や細胞生存率に大きく影響するため、自動化が課題となっています。

本装置は全工程を外気に触れない完全閉鎖系で無菌培養を実現し、複雑な培養工程も簡単に設定でき、細胞の生育の様子もセンサーによってリアルタイムに確認することができます。原料となる細胞の播種（培養の元となる細胞を最初に播くこと）・継代（細胞の植え継ぎ）・収穫までの各工程及び工程間搬送を完全自動化することにより、品質管理の高度化や省人化が可能です。また、培養液の解析で取得した全てのデータは集約されますので、品質の管理だけでなく、製造工程の改善にも活用することが可能です。

当社では、本装置の有用性を体験していただくために、FBRI殿が新たに神戸医療イノベーションセンター5階に整備する細胞受託製造設備の一角に当社の「ソリューション・ラボ」を2022年3月に開設する予定です。この施設では、お客様の見学や希望する細胞の培養評価の実施や、試験製造の受託なども可能にする予定です。

再生医療は次世代の治療として期待されており、当社は本装置の発売を皮切りに、「CellQualia（セルクオリア）」をブランド名として再生医療事業を展開し、2025年までに売上高50億円の達成を目指しています。質の高い再生医療を安価に提供できるよう、再生医療に関わる機器の開発に邁進してまいります。



CellQualia
Intelligent Cell Processing System

クリーン搬送機器の受注好調

世界的に半導体の需要が高まる中、当社のクリーン搬送機器の受注が好調に推移しています。

当社は、半導体製造工程で使用されるロードポート（半導体製造装置に材料を供給するインターフェース部分）をはじめ、EFEM（ウェーハ搬送ロボットとロードポートを組み合わせた複合モジュール）や真空搬送システムなどを製造・販売しており、国内・海外の大手半導体製造装置メーカーへ納入しています。

これらは国内の豊橋製作所を中心に生産しており、グローバル拠点としてシンフォニアテクノロジー（タイ）（株）でもその一部を担って製造しています。また、新たに伊勢製作所に生産ラインを追加構築するなど、国内・海外の各工場の設備投資を進めるとともに、部材不足の影響を最小限に抑え、生産台数のさらなる増加に努めてまいります。

半導体市場は、当面の間、拡大基調が継続すると予測しており、2021年度の受注高は過去最高の300億円を目指しています。2022年度以降は、現在開発を進めている新商品の拡販や海外新規顧客の開拓等にさらに注力し、また生産能力についても増強を図り、将来的には年間400億円の生産体制を構築し、当社全体売上の3割以上を占める事業とすることを目指して取り組んでまいります。



作業風景



ロードポート

連結貸借対照表 (2021年9月30日現在)

(単位：百万円)

資産の部	
流動資産	56,614
現金及び預金	8,916
受取手形、売掛金及び契約資産	25,994
商品及び製品	1,651
仕掛品	10,431
原材料及び貯蔵品	9,083
その他	579
貸倒引当金	△43
固定資産	49,575
有形固定資産	30,347
建物及び構築物（純額）	10,857
土地	14,575
その他（純額）	4,915
無形固定資産	2,297
投資その他の資産	16,931
投資有価証券	11,664
その他	5,435
貸倒引当金	△169
資産合計	106,189

負債の部	
流動負債	39,719
支払手形及び買掛金	17,977
短期借入金	8,470
1年内返済予定の長期借入金	3,076
未払法人税等	340
製品保証引当金	303
受注損失引当金	846
その他	8,704
固定負債	16,660
長期借入金	10,301
役員退職慰労引当金	126
役員株式給付引当金	22
環境対策引当金	3
退職給付に係る負債	2,737
その他	3,469
負債合計	56,379
純資産の部	
株主資本	37,724
資本金	10,156
資本剰余金	452
利益剰余金	29,078
自己株式	△1,963
その他の包括利益累計額	12,085
その他有価証券評価差額金	5,677
土地再評価差額金	3,913
為替換算調整勘定	283
退職給付に係る調整累計額	2,211
純資産合計	49,809
負債純資産合計	106,189

連結損益計算書 (2021年4月 1日より 2021年9月30日まで)

(単位：百万円)

売上高	39,992
売上原価	31,682
売上総利益	8,310
販売費及び一般管理費	6,695
営業利益	1,614
営業外収益	340
受取利息及び配当金	135
権利譲渡収入	99
その他	105
営業外費用	282
支払利息	72
支払補償費	86
その他	124
経常利益	1,672
税金等調整前四半期純利益	1,672
法人税等	562
四半期純利益	1,109
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,109

連結キャッシュ・フロー計算書 (2021年4月 1日より 2021年9月30日まで)

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	1,955
投資活動によるキャッシュ・フロー	△750
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,656
現金及び現金同等物に係る換算差額	9
現金及び現金同等物の増減額	△3,442
現金及び現金同等物の期首残高	12,358
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,916

会社概要

会社名	シンフォニアテクノロジー株式会社
設立	1949年（昭和24年）8月
創業	1917年（大正6年）5月
資本金	101億5,696万円
従業員	3,728名（連結）
本社所在地	東京都港区芝大門一丁目1番30号 芝NBFタワー

株式の状況

発行可能株式総数	116,000,000株
発行済株式の総数	28,363,560株（自己株式1,425,562株を除く）
株主数	12,848名
大株主（上位11名）	

株主名	持株数 千株	出資比率 %
日本マスタートラスト信託銀行(株)（信託口）	3,112	10.97
日本マスタートラスト信託銀行(株) （退職給付信託口・(株)神戸製鋼所口）	1,835	6.47
ダイキン工業(株)	1,017	3.59
シンフォニアテクノロジーグループ 従業員持株会	970	3.42
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/ LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	950	3.35
シンフォニアテクノロジー取引先持株会	865	3.05
(株)日本カストディ銀行（信託口）	808	2.85
大日本印刷(株)	732	2.58
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	451	1.59
ナブテスコ(株)	400	1.41
神鋼商事(株)	400	1.41

- (注) 1. 日本マスタートラスト信託銀行(株)（退職給付信託口・(株)神戸製鋼所口）の持株数1,835千株は(株)神戸製鋼所から同信託銀行へ信託設定された信託財産です。信託約款上、当該株式の議決権の行使についての指図権限は(株)神戸製鋼所が保有しております。
2. 日本マスタートラスト信託銀行(株)（退職給付信託口・(株)神戸製鋼所口）は、前事業年度末において当社の主要株主でしたが、当第2四半期会計期間末現在において当社の主要株主ではありません。
3. 当社は、自己株式1,425千株を保有しておりますが、上記大株主の状況には含めておりません。
4. 出資比率は自己株式（1,425,562株）を控除して計算しております。

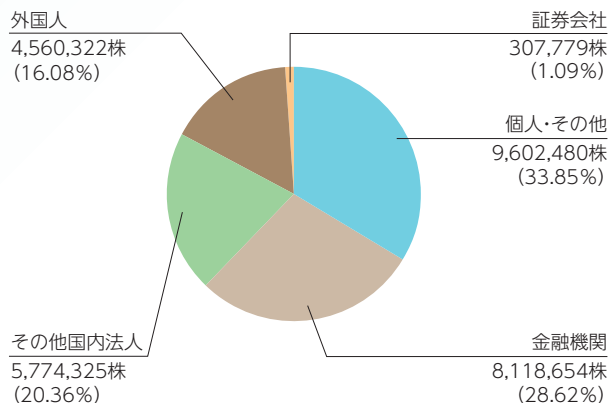
主要な営業所及び工場

支社	大阪、名古屋
支店	九州（福岡）
営業所	東北（仙台）、新潟、北陸（富山）、静岡、三重（伊勢）、中国（広島）
工場	伊勢製作所（伊勢、鳥羽）、豊橋製作所

主要な子会社の本社所在地

シンフォニア商事(株)（伊勢）
 シンフォニアエンジニアリング(株)（伊勢、東京）
 (株)アイ・シー・エス（伊勢）
 (株)大崎電業社（東京）
 (株)S&Sエンジニアリング（東京）
 シンフォニアマイクロテック(株)（明石）
 昕芙旅雅機電（香港）有限公司（中華人民共和国・香港）
 昕芙旅雅機電（東莞）有限公司（中華人民共和国・東莞）
 SINFONIA MICROTEC(VIETNAM)CO.,LTD.（ベトナム社会主義共和国・ハナム）
 SINFONIA TECHNOLOGY(THAILAND)CO.,LTD.（タイ王国・サムットプラカーン）
 昕芙旅雅商貿（上海）有限公司（中華人民共和国・上海）

所有者別株式分布状況



役員

取締役及び監査役

代表取締役会長	武藤昌三
代表取締役社長	斉藤文則
取締役	平野新一
取締役	坂本克之
取締役	成久雅章
取締役	千手裕治
社外取締役(非常勤)	重河和夫
社外取締役(非常勤)	水井聡
監査役(常勤)	堀悟
社外監査役(常勤)	大西健司
社外監査役(非常勤)	下谷收
社外監査役(非常勤)	藤岡純

執行役員

※専務執行役員	平野新一
※常務執行役員	坂本克之
※執行役員	成久雅章
※執行役員	千手裕治
執行役員	仲真司
執行役員	花木敦司
執行役員	溝端浩輝
執行役員	中村俊樹
執行役員	加藤清巳
執行役員	山国稔一
執行役員	幡野隆一
執行役員	吉原宗祐
執行役員	佐伯英一郎
執行役員	林和孝

- (注) 1. 当社は、重河和夫、水井 聡、大西健司、下谷 收、藤岡 純の5氏を(株)東京証券取引所の定めに基づく独立役員として同取引所に届け出ております。
2. 上記※印の者は、取締役を兼務しております。

単元未満株式(1株~99株)買増及び買取請求のご案内

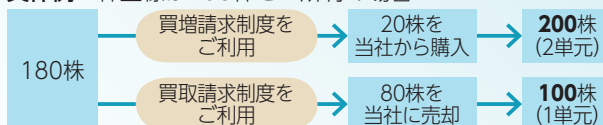
当社株式の証券市場での取引は100株単位となっており、単元未満株式を市場で売買することはできません。

当社では、「単元未満株式買増請求制度」または「単元未満株式買取請求制度」のいずれかの制度を選択してご利用いただけますので、ご案内申し上げます。

買増請求制度 株主様がご所有の単元未満株式と合わせて単元株式(100株)となるように、市場価格で当社から購入することを請求できる制度です。

買取請求制度 株主様がご所有の単元未満株式を、市場価格で当社に売却することを請求できる制度です。

具体例 株主様が180株をご所有の場合



単元未満株式の買増・買取、住所変更等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座にて管理されている株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

特別口座から一般口座への振替えについて

株券電子化に際して、証券会社等に株券を預けられていなかった株主様の株式は、三井住友信託銀行株式会社の特別口座に記録されています。特別口座に記録されている株式につきましては、株主様が保有株式の管理を簡便にするため、証券会社等の口座(一般口座)に振替えていただくことをお勧めいたします。

ご所有の株式が特別口座に記録されているかご不明の場合や、一般口座への振替えのお手続につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
(その他必要あるときは予め公告します。)

上場取引所 東京証券取引所 市場第一部

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 TEL 0120 (782) 031 (フリーダイヤル)



シンフォニア テクノロジー 株式会社

〒105-8564
東京都港区芝大門一丁目1番30号 芝NBFタワー
TEL 03 (5473) 1800
<http://www.sinfo-t.jp>

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この印刷物はFSC®認証紙を使用しています。 この印刷物は植物油インキで作成されています。